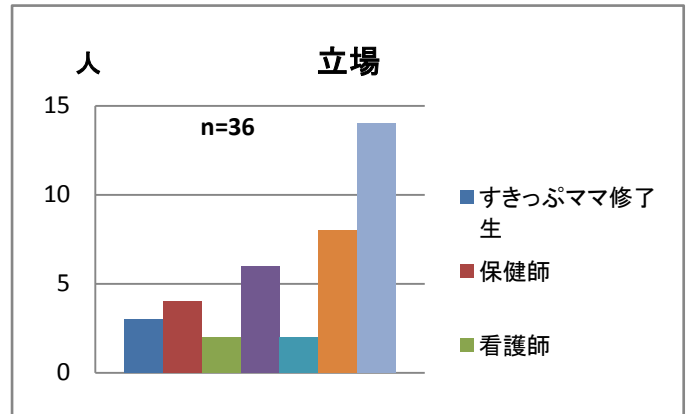
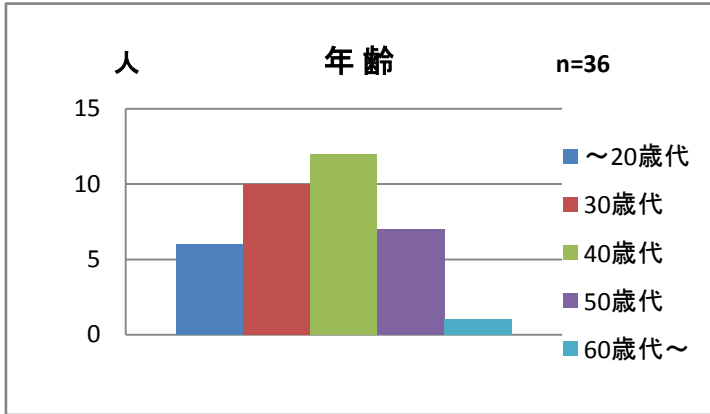
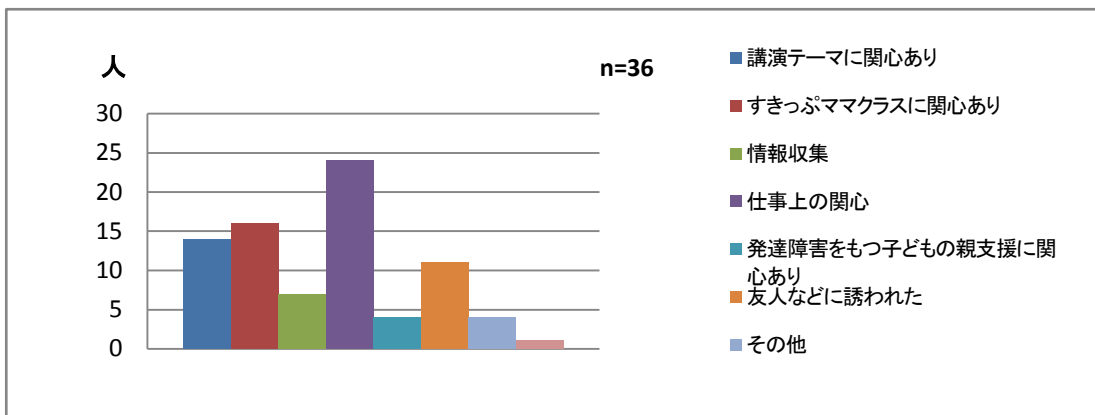


参加者総数；64名

I. ご参加いただいた方々の概要

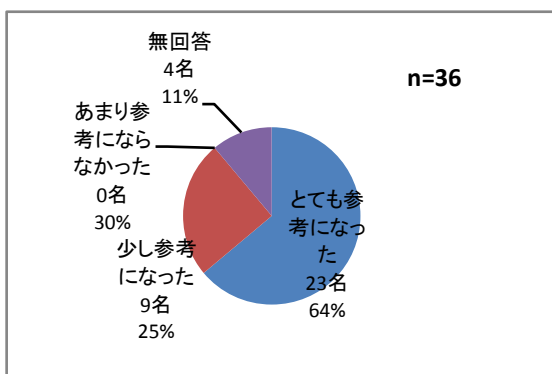


II. この研究会に参加した動機

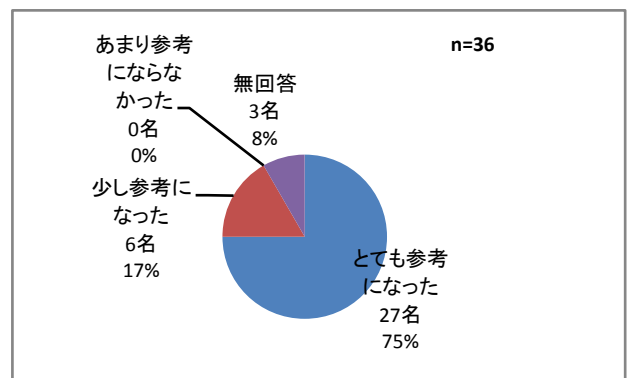


III. 各講演の参考度について

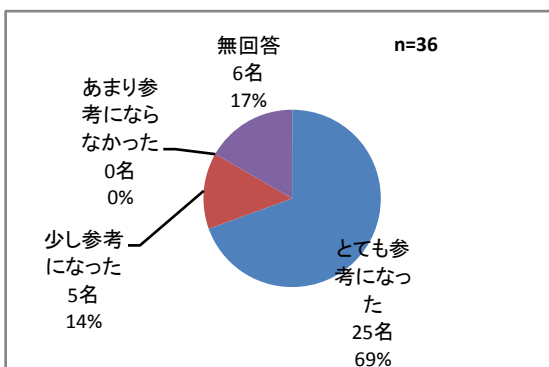
1. 「すきっぷママクラスの概要紹介とこれまでの成果」



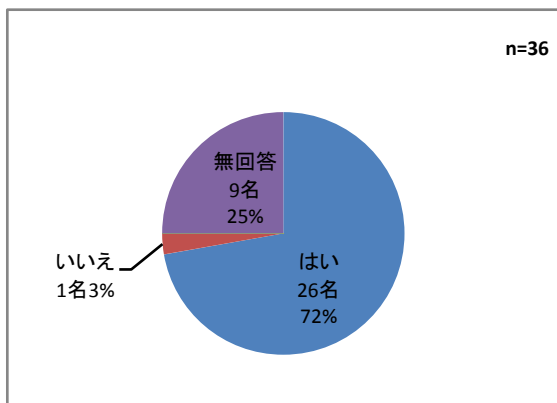
2 「発達障害をもつお子さんのところに重なる発達支援—生活のいとなみのなかで—」



3. すきっぷママクラスのプログラム紹介と活動予定



IV 発達障害をもつお子さんの育児または支援に関して、あなたが困っていることはありますか。

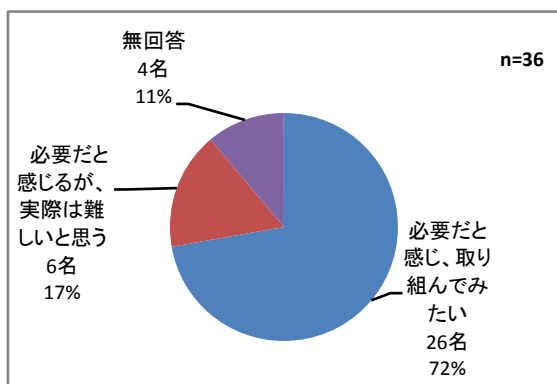


《困っている内容》

- ・ 学校でのその年よっての支援のむら。
- ・ 育児サークルのリーダーをしていますが、人数が多くなり、支援して下さるお手伝いして下さる方がいて下さると本当に助かります。
- ・ 診断というか、専門機関に相談に行こうというまでの保護者の方のハードルがまず高いです。発達障害と受け入れることが難しい。しかし、子どもの対応への困難を抱えている方はたくさんいて、そうした方への支援が難しく感じます。
- ・ 障害児の親を対象とした教室を年間5回実施しています。交流会がメインの内容になっており、満足度はまあまあといったところです。幼児期だけではなく、学童も来ています。どのような内容で実施していけばいいか悩んでいます。

- ・ 支援を募り学生にどうおしえていくのか。教科書には十分のっていないこと。一方で現場でお母様に向き合うやりがいも実感します。
- ・ 親同士がお互いのことを理解し合えない。自分の困り感や大変さは当然ながら分かるのに、他の人の待つ大変さを分ろうとしない。学齢期への支援。体制も整っていないが、学習面以外でどのような支援が必要とされ、現実に対応できるのか。
- ・ 親にも同じような特性がある場合の、子育てのアドバイスについて。対応するのはどこになるのか。対応のポイントは。
- ・ 子育て支援者が学ぶ場が少ない。
- ・ ひとつひとつのエピソードに対する対応の仕方。

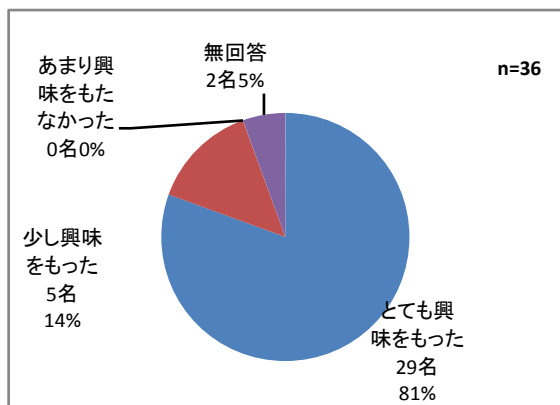
V すきっぷママクラスのようなプログラムがあなたの地域で必要だとおもいますか。



《自由記載内容》

- ・ 母が人格障害や被CAだったりで集団の支援になじまない人が多いが、子がPDD系で母が他者との関係を結べる人を対象ならやってみたいし必要と思う。
- ・ スタッフの数は確保できるのか。開催にお金がかかりそう。
- ・ 地域で人が集まるか？

VI すきっぷママクラスのプログラムに興味をもたれましたか。



VII すきっぷママクラスのプログラム内容についてもっと詳しく知りたいですか

